資料5

コンクリート大割圧砕機及び鉄骨切断機

		查項目	(ひ鉄育切)	検査方法	判 定 基 準
7.3.1 克動機		ーゼルエンシ	ジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び半	
原動機 7.3.2				 ゚゚゚・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びド	ラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判
動力伝達 装置	定基	準を適用す	ること。		
7.3.3					
走行装置 7.3.4					
操縦装置 7.3.5					
制動装置					
7.3.6 作業装置		a 上部フ レーム等		き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
IF未衣臣	ク	D 74	ii 取付け ピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
	リー ト圧 砕		iii ボルト 及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
	具	b 旋回装 置			①円滑に旋回し、異音が無いこと。
	及び	直	アリング及 び旋回ギ	ి.	
	鉄		ヤ	②旋回ギヤのき裂及び摩耗の有無を調べる。	②き裂又は著しい摩耗が無いこと。
	骨切			③取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を 調べる。	③緩み又は脱落がないこと。
	断具			④ベアリングシールの損傷の有無を調べる。	④損傷がないこと。
			ii 旋回ブ レーキ	①ブレーキの効き具合を調べる。 ②旋回中の異音の有無を調べる。	①正常であること。 ①異音がないこと。
			D- - +	③取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を 調べる。	
		c 油圧装 置	油圧モー	①パイプ及びホースとの継手部並びにシール部から の油漏れの有無を調べる。	①油漏れがないこと。
			ター	②作動させて無負荷及び負荷状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	
			ii 開閉シ	①作動状態を調べる。	①円滑に作動すること。
			リンダー	②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの 有無を調べる。	②油漏れがないこと。
				③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。	③メーカ-の指定する基準値内であること。
				④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。	こと。
			手	負荷をかけた状態で回転させて回転の状態及び油 漏れの有無を調べる。	円滑に回転し、油漏れがないこと。
			・センター ジョイント		
			・スイベル ジョイント		
			iv 配管 (ホース	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を 調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。
			類、高圧 パイプ)	②継手部からの油漏れの有無を調べる。	②油漏れがないこと。
			747	③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落 の有無を調べる。	③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又 は脱落がないこと。
		d 下部フ レーム等	i フレー ム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
			ii 取付け ピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。
					緩み又は脱落がないこと。
		e 圧砕・ 切断部	i 圧砕・ 切断アー ム	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②圧砕ポイントの摩耗の有無を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。
			ii カッター	①き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。	①き裂、欠け又は著しい摩耗がないこと。
				②カッターの隙間を測定する。	②メーカーの指定する基準内であること。
				③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	③緩み又は脱落がないこと。
			I	<u> </u>	

				構造規格に規定された表示板その他の注意・指示 銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。
	(2) ブ			3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル (ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。	
	ム	b リンク		II .	
	等	c ピン及びブシュ		ıı .	
		d 散水配管		①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を調べる。 ②取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。 ②取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又は脱落がないこと。
		e 安全装 置等	i 角度計	①起伏角度の範囲内でブームを起伏させ、作動状態を調べる。	①正常に作動すること。
				②損傷の有無及び目盛等の鮮明度を調べる。 ③取付け状態を調べる。	②損傷がなく、目盛等が鮮明であること。 ③適正であること。
			ii 作業範 囲制限装 置	①ブームを作業範囲の限界角度まで起こし、作動の 適否を調べる。 ②リンク機構のき裂、変形、腐食及び摩耗の有無を 調べる。 ③手でON、OFFを繰り返し、リミットスイッチの作動 の適否を調べる。 ④リミットスイッチの損傷の有無を調べる。 ⑤警音器の作動の適否を調べる。 ⑥警音器の損傷の有無を調べる。 ⑦ケーブル(コード)の損傷及び断線の有無並びに 絶縁の状態を調べる。	①ブームの作業範囲限界前に作動すること。 ②き裂、著しい変形、腐食又は著しい摩耗がないこと。 ③正常に作動すること。 ④損傷がないこと。 ⑤正常に作動すること。 ⑥損傷がないこと。 ⑦損傷又は断線がなく、絶縁が良好であること。
7.3.7 操作装置	操作	レバー及び	ペダル	レバー等を操作し、ストロークの適否及びがたの有 無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。
7.3.8 油圧装置 7.3.9 安全装置 7.3.10 車体関係等	-			3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式) (ホイール式)の検査方法及び判定基準を適用するこ	٤٤.
7.3.11 総合テスト				走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は 異常発熱がないこと。

検査指針(案)

コンクリート小割圧砕機

		<u> </u>		検 査 方 法	判 定 基 準	
7.4.1	ディーゼルエンジン			共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判	定基準を適用すること。	
原動機 7.4.2	3 17	パワーショベ	ル及びドラク	<u> </u> ブ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びドラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判定		
動力伝達 装置 7.4.3		を適用する		23 W()1 92()2(60)2/() 23 W2013	ククラコ 切り(杯目 が起)の検査が固体の主張	
走行装置 7.4.4 操縦装置 7.4.5 制動装置						
7.4.6 作業装置	圧	a フレー ム等	i フレー ム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。	
	砕 具		ii 取付け ピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。	
			iii ボルト 及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。	
		b. 油圧装		①作動状態を調べる。	①円滑に作動すること。	
		置	リンダー	②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。		
				べる。	③メーカーの指定する基準値内であること。	
				④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり及び擦り傷の有無を調べる。	④打痕、き裂、曲がり又は擦り傷がないこと。	
			ii 配管 (ホース 類、高圧	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無を 調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがないこと。	
			パイプ)	②継手部からの油漏れの有無を調べる。 ③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落 の有無を調べる。	②油漏れがないこと。 ③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又 は脱落がないこと。	
		c 圧砕部	i 圧砕 アーム	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②圧砕ポイントの摩耗の有無を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。	
			ii ツース	脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。	
		d 表示板		構造規格に規定された表示板その他の注意・指示銘 板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。	
	ブー	`		3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式) イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。	又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホ	
		b リンク		11		
	等 c ピン及びフシュ			ıı .		
7.4.7. 操作装置	操作	レバー及び	ペダル	無を調べる。	ストロークが適正で、著しいがたがないこと。	
7.4.8 8油圧装置 7.4.9 安全装置				3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式) イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること。		
7.4.10 車体関係等	€					
〒/本房/ 7.4.11 総合テスト				走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異常発熱がないこと。	
•						

検査指針(案)

つかみ機(内部シリンダー作動型)

振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。 ii 開閉シ ①作動状態を調べる。 ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。 iii 回転継 手・センタージョイント・スイベル・フェイント	213 0 F-198	_	<u> </u>	F#J == /	検 査 方 法	判 定 基 準
動力伝達 接置		ディ	ーゼルエンシ	ブン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び	判定基準を適用すること。
注行装置	動力伝達 装置				・・ショベル(クローラ式)又は3.2パワーショベル及びト	「ラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判
操縦装置	走行装置					
1	操縦装置 7.5.5					
作業装置		(4)	1 + -	I ·	七列 本型工作库打点七辆大型 \$ 7	
としているのは、		2		ム		
		4				
でが使回ギ		具			ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。
び旋回ギヤのき裂及び摩耗の有無を調べる。 ②き裂又は著しい摩耗が無いこと。 ③服付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無 を調べる。 ④人ダアリングシールの損傷の有無を調べる。 ④損傷がないこと。 ④損傷がないこと。 ⑥加川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			b 旋回装 置			①円滑に旋回し、異音が無いこと。
を調べる。				び旋回ギ		②き裂又は著しい摩耗が無いこと。
 ○ 油圧装				ヤ	9	③緩み又は脱落がないこと。
油圧モーター らの油漏れの有無を調べる。 ②作動させて無負荷及び負荷状態における異常振動、異音又は異常発熱がないこ ③ 作動状態を調べる。 ③ 1 円滑に作動すること。 ② 数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③ 負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④ シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。 ④ 打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がと。 ○ 1 「円滑に作動すること。 ② 油漏れがないこと。 ③ メーカーの指定する基準値内であること ④ 打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がと。 ○ 1 「円滑に回転し、漁漏れがないこと。 1 「円滑に回転し、漁工を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を収入を					④ベアリングシールの損傷の有無を調べる。	④損傷がないこと。
振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。 ii 開閉シ ①作動状態を調べる。 ①リンダー ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がたり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。 iii 回転継手・センタージョイント・スイベルジョイント						①油漏れがないこと。
リンダー ②数回伸縮させた後、シール部等からの油漏れの ②油漏れがないこと。 有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を 調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲 がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。 談 回転継 負荷をかけた状態で回転させて回転の状態及び油 円滑に回転し、油漏れがないこと。 漏れの有無を調べる。 でセンター ジョイント・スイベル ジョイント				ター		②異常振動、異音又は異常発熱がないこと。
有無を調べる。 ③負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。 ④シリンダーチューブ及びロッドの打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷ががり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。 iii 回転継 負荷をかけた状態で回転させて回転の状態及び油 円滑に回転し、油漏れがないこと。 漏れの有無を調べる。 ・センタージョイント・スイベルジョイント					①作動状態を調べる。	①円滑に作動すること。
調べる。				リンダー		②油漏れがないこと。
がり、腐食及び擦り傷の有無を調べる。						③メーカーの指定する基準値内であること。
手 ・センター ジョイント ・スイベル ジョイント						④打痕、き裂、曲がり、腐食又は擦り傷がないこと。
・スイベル ジョイント				手		円滑に回転し、油漏れがないこと。
				・スイベル		
┃ ┃				iv 配管 (ホース	①き裂、損傷、老化、ひび割れ及びねじれの有無 を調べる。	①き裂、損傷、老化、ひび割れ又はねじれがな いこと。
類、高圧 ②継手部からの油漏れの有無を調べる。 ②油漏れがないこと。					②継手部からの油漏れの有無を調べる。	②油漏れがないこと。
パイプ) ③取付状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱 ③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩 落の有無を調べる。 は脱落がないこと。						③取付けが適正で、ボルト及びナットの緩み又 は脱落がないこと。
d 下部フ i フレー き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 レーム等 ム				i フレー ム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。
ii 取付け ①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ピン ②給脂状態を調べる。 ②給脂が十分であること。				ピン	②給脂状態を調べる。	②給脂が十分であること。
iii ボルト ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。 緩み又は脱落がないこと。 及びナット				1	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。

		e つかみ音	i つかみ アーム	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②つかみポイントの摩耗の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。
			/		②メーカーの指定する基準内であること。
				③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べ	③緩み又は脱落がないこと。
				①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。
			リンク	②取付けピンの変形及び摩耗の有無を調べる。	②メーカーの指定する基準内であること。
				③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	③緩み又は脱落がないこと。
			iii ツース	脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。
		f 表示板		構造規格に規定された表示板その他の注意・指示 銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。	損傷がなく、適正に取り付けられていること。
	(2)	ブーム等	аブーム	3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホ
			及びアー	イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること	•
			ム		
			b リンク	II.	
			c ピン及	II.	
	10 //		びブシュ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
7.5.7 操作装置	操作	レバー及び	ベタル	レバー等を操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適止で、者しいがたがないこと。
7.5.8				3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(ホ
油圧装置				イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること	
7.5.9					
安全装置					
7.5.10					
車体関係	等				
7.5.11				走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異
総合テスト	•				常発熱がないこと。

検査指針(案)

つかみ機(外部シリンダー作動型)

273 TO 7 TIPE		<u>ポンリンタ</u> : 査 項 目	1F#/15-/	検 査 方 法	判 定 基 準	
7.6.11 原動機	ディ	ーゼルエン	ジン	共通事項1.1.1 ディーゼルエンジンの検査方法及び判定基準を適用すること。		
		∜ワーショベ 5準を適用す		゚゚゚゚・ショベル(クローラ式) 又は3.2パワーショベル及びh	デラグ・ショベル(ホイール式)の検査方法及び判	
7.6.6 作業装置		a フレー ム等	i フレー ム	き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。	
	かみ		ii 取付け ピン	①き裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 ②給脂状態を調べる。	①き裂、変形又は著しい摩耗がないこと。 ②給脂が十分であること。	
	具		iii ボルト 及びナット	ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み又は脱落がないこと。	
	(2) ブ ム	b つかみ 部	i つかみ アーム	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②つかみポイントの摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べ	①変形、き裂、欠け又は著しく摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ④緩み又は脱落がないこと。	
			ii つかみ リンク	①変形、き裂、欠け及び摩耗の有無を調べる。 ②取付けピンの変形及び摩耗の有無を調べる。 ③ボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べ	①変形、き裂、欠け又は著しい摩耗がないこと。 ②メーカーの指定する基準内であること。 ③緩み又は脱落がないこと。	
		c 表示板		Z 脱落、がた及び摩耗の有無を調べる。 構造規格に規定された表示板その他の注意・指示	脱落、著しいがた又は摩耗がないこと。 損傷がなく、適正に取り付けられていること。	
		a ブーム及		銘板等の損傷の有無及び取付状態を調べる。 3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式 イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること)又は3.2パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(木	
		b リンク c ピン及び	` ≓ `	ıı		
7.6.7 操作装置		レバー及び		"レバー等を操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。		
7.6.8 油圧装置 7.6.9 安全装置 7.6.10 車体関係等	<u> </u>			3.1パワー・ショベル及びドラグ・ショベル(クローラ式 イール式)の検査方法及び判定基準を適用すること		
7.6.11 総合テスト				走行、旋回及び作業テストを行い、機能を調べる。	各装置が正常に作動し、異常振動、異音又は異 常発熱がないこと。	